

【活動レポート】2015/11/19～29 アセアン交流事業アテンドボランティア



平成 27 年 11 月 19 日～29 日、国立信州高遠青少年自然の家にて実施されたアセアン加盟国中学生招聘事業に通訳アテンドボランティアとして参加させて頂きました。

本事業は文部科学省委託事業で 3 年に渡る国際交流事業であり、2 年目に当たる今回、初めて大学生ボランティアを導入したとのことで、私達はシンガポール、ブルネイ、カンボジアから 6 人ずつの中学生に加え、引率で大人の方が 1 名ずつ各国から参加する、総勢 21 名のアセアンチームと、交流対象校となっていた高遠中学校の学生、国立信州高遠青少年自然の家の教職員の方々といった日本チームを繋ぐ役割を担当させて頂きました。?

主な業務は、日本チームが話したこと(主に教職員の方々の説明)をほぼ同時通訳のようにして周りにいるアセアンチームに伝えるというようなものです。基本的に通訳は日本語⇄英語でしたが、それぞれの専攻語を生かした通訳もさせて頂きました。臨機応変な対応が必要不可欠であり、突如業務が発生することもあります。上手く伝えられず申し訳なさや歯がゆさが残る場面もありましたが、更なる学習意欲向上に繋がり、またスタッフの一員として事業を作り上げていく喜びも多くの場面で感じました。

アセアンチームの中学生と同じ自然の家施設に寝泊まりさせて頂いたこともあり、通訳としてだけでなく、生活面等多くの時間を学生達と共に過ごすことで親交が深まりました。(私は本事業が終了して 3 ヶ月後にブルネイに赴いたのですが、その際にブルネイチームとの再会も果たせました!)日本とアセアン、言葉はわからなくともお互い伝えよう、理解しようとする中学生の熱心な姿に心打たれたと同時に、本事業教職員の方々の人柄の良さに感動し、ボランティアという事業をサポートする立場であったのにも関わらず、コチラまで素晴らしい体験をさせて頂き、今後も大切にしたいご縁が沢山ありました。お世話になった皆様、本当に有難うございました。

外国語学部マレーシア語専攻 4 年 飯島葉月

日時: 2016 年 05 月 23 日